

【派遣社員の就業実態・就業希望 4,000人調査】

新型コロナウイルスが、仕事探しにおいて「心境の変化に影響している」5割弱 最も変化した項目は「正社員として働くことへの希望」

ディップ株式会社（以下「当社」）のディップ総合研究所は、アルバイト・パートまたは派遣社員^{※1}として就業している15～69歳の男女を対象に「就業実態、就業希望調査」を実施しましたので報告いたします。

※1 本リリースでは、調査対象者のうち、派遣社員（SC調査7,102サンプル/本調査4,082サンプル）の結果を使用

■調査結果サマリ

1. 新型コロナウイルスが仕事探しに「影響している」5割弱
2. 最も変化した仕事の条件や希望は「正社員として働くことへの希望」
3. 現在の雇用形態の満足度は、「どちらともいえない」4割強、「不満である」3割強、「満足している」3割弱
4. 最も希望する雇用形態は「正社員」、そのうちの4割強が正規雇用化への希望が強くなったと回答
5. 正社員として働きたい理由のトップ3は、「給与をアップさせたい」「雇用が安定していて将来が安心だから」「福利厚生が充実したところで働きたい」

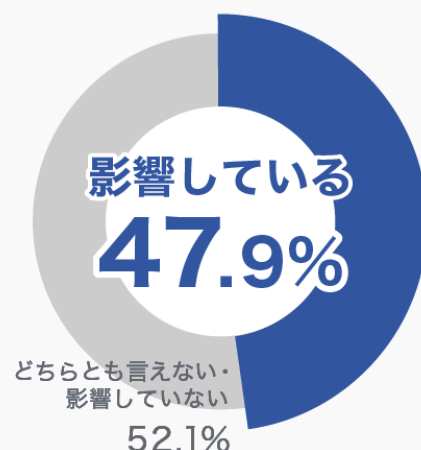
dip 働く人のリアルがわかる
ディップ総合研究所

「派遣社員 4,000人」の就業実態・就業希望調査

新型コロナウイルスが、仕事探しにおいて
「心境の変化に影響している」**5割弱**

最も変化した項目は…

“正社員として働くことへの希望”



「派遣社員の就業実態、就業希望調査」:

<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=425/> / https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=426

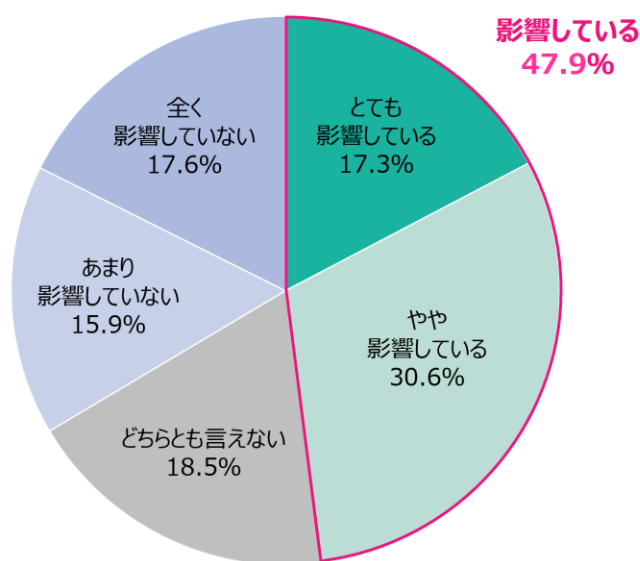
■ 調査結果からわかる派遣社員の就業実態・就業希望

新型コロナウイルスによる影響で、仕事探しにおいて 5 割弱が「心境の変化があった」と回答し、最も変化した仕事の条件や希望は「正社員として働くことへの希望」でした。現在の雇用形態の満足度は、「どちらともいえない」が最も多く 4 割強、「不満である」「満足している」はともに約 3 割という結果になりました。最も希望する雇用形態は「正社員」で、そのうちの 4 割強が正規雇用化への希望が強くなったと回答しています。正社員として働きたい理由のトップ 3 は、「給与をアップさせたい」「雇用が安定していて将来が安心」「福利厚生が充実したところで働きたい」となりました。

■ 調査結果概要

1. 新型コロナウイルスが、仕事探しにおいて「心境の変化に影響している」47.9%

Q.仕事探しにおいて、新型コロナウイルスは「心境の変化」に影響していますか。
あてはまるものを1つ選択してください。 n=4,082



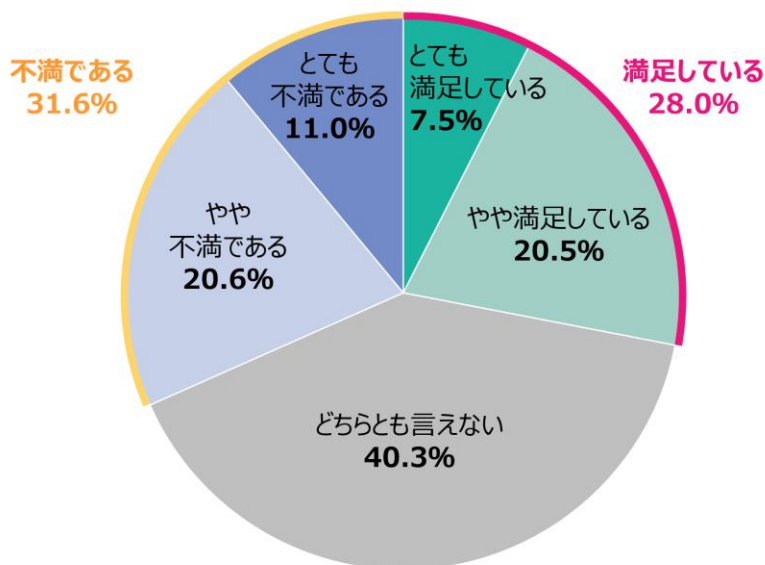
2. 最も変化した仕事の条件や希望は「正社員として働くことへの希望」

Q.新型コロナウイルスの影響により、対象の“仕事の条件”の希望や許容は変化しましたか。あてはまるものをそれぞれ選択してください。n= 4,082

順位	新型コロナウイルスにより変化した仕事の条件
1位	正規雇用（正社員として働くこと）への希望
2位	交通費支給の有無
3位	最低限求める時給
4位	許容できる業種・職種
5位	許容できる通勤時間

3. 現在の雇用形態の満足度は、「どちらともいえない」4割強、「不満である」3割強、「満足している」3割弱

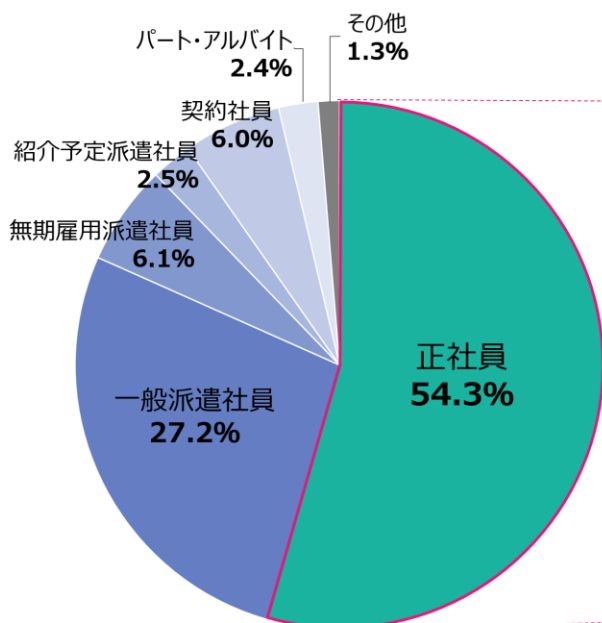
Q.現在の雇用形態に対し、満足していますか。あてはまるものを1つ選択してください。 n=4,082



4. 最も希望する雇用形態は「正社員」、そのうちの4割強が正規雇用化への希望が強くなったと回答

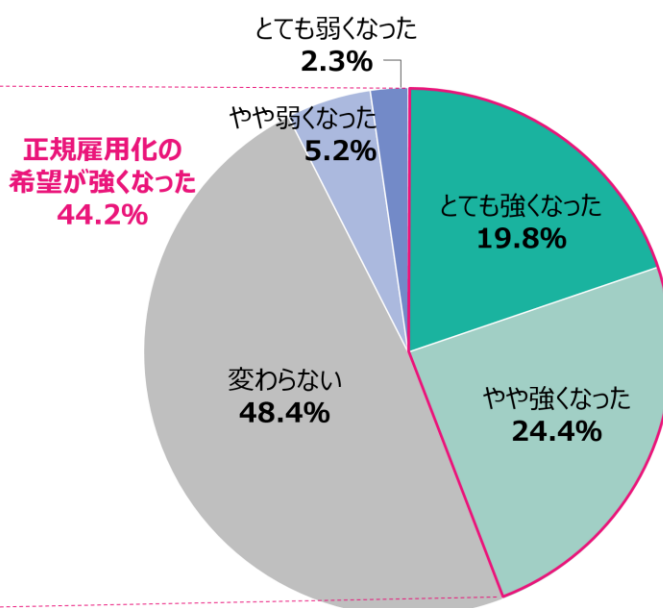
希望する雇用形態 全体1位

Q.希望する雇用形態としてあてはまるものを、1～3位までそれぞれ選択してください。 n=4,082



新型コロナウイルスの影響による、正規雇用化の希望の変化

Q.新型コロナウイルスの影響により、正規雇用化（正社員として働くこと）の希望は変化しましたか。最もあてはまるものを1つ選択してください。 n=2,217



5. 正社員として働きたい理由のトップ 3 は、「給与をアップさせたい」「雇用が安定していて将来が安心」「福利厚生が充実したところで働きたい」

Q.正社員として“働きたい理由”として、あてはまるものをすべて選択してください。（複数回答）
n= 2,852（前出の質問「希望する雇用形態」で1～3位に正社員を選択した人のみ）

働きたい理由	(%)
給与をアップさせたいから	65.7
雇用が安定している所以将来が安心だから	63.0
福利厚生の充実したところで働きたいから	43.8
非正規雇用は世間的に不利な地位にあるので、正社員の肩書がほしいから	37.7
労働条件や職場環境を改善したいから	27.4
キャリアを高めたいから	16.4
自分の意欲や能力を活かしたいから	15.7
責任ある仕事をしたいから	13.9
新しいスキルを得たいから	13.6
専門的な資格や技能を活かしたいから	9.9
家事・育児・介護などの制約がなくなったから	5.0
その他	1.0

その他、調査の詳細は下記 URL にて公開しています。

「アルバイト・パートの就業実態、就業希望調査」:

<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=425/> / <https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=426>

■ 調査概要

調査設計・分析：ディップ総合研究所 ディップレポート編集室 川上由加里・太田瑠美子

調査名：ディップ総合研究所「アルバイト・パート・派遣社員の就業実態、就業希望調査」

調査手法：インターネット調査（GMOリサーチ利用）

調査期間：2020年7月2日（木）～2020年7月16日（木）

調査対象者：47都道府県内でアルバイト・パートまたは派遣社員^{※1}として就業している15～69歳の男女

有効回収数：SC調査35,803サンプル／本調査11,129サンプル

アルバイト・パート（SC調査28,701サンプル／本調査7,047サンプル）、派遣社員（SC調査7,102サンプル／本調査4,082サンプル）

※1 本リリースでは、調査対象者のうち、派遣社員（SC調査7,102サンプル／本調査4,082サンプル）の結果を使用

※当調査結果を引用・転載される際は、下記表記をお願いいたします。

出典：アルバイト・パートの就業実態、就業希望調査（<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=425/>、<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=426>）

※インターネットメディアへご掲載いただく場合は、ディップ総合研究所TOPページ(<https://www.baitoru.com/dipsouken/>)または、アンケート調査結果ページ（<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=425/>、<https://www.baitoru.com/dipsouken/all/detail/id=426>）のURLを記載ください。

ディップ総合研究所 概要

ディップ総合研究所は、アルバイト・パート・派遣社員・正社員など働く人すべての気持ちや本音・許容や理想を、調査を通して明らかにするため、2019年1月17日に開設しました。経営層から人事・採用担当者向けに、“採用活動やその後の育成・定着を成功に導く”実践的なコンテンツを提供することで、「採用された人材が活躍し、働く人と企業がともに輝ける社会」の実現を目指します。

ディップ総合研究所：<https://www.baitoru.com/dipsouken/>

当社概要

「私たちdip は夢とアイデアと情熱で社会を改善する存在となる」の企業理念のもと、“Labor force solution company”をビジョンに掲げ、『労働力の総合商社』として、人材サービス事業とAI・RPA 事業を提供しています。

社名:ディップ株式会社

代表:代表取締役社長 兼CEO 富田 英揮

本社:東京都港区六本木3-2-1 六本木グランドタワー31F

電話:03-5114-1177 (代表)

設立:1997年3月

資本金:1,085百万円 (2020年2月末現在)

従業員数:2,234名 (2020年4月1日現在の正社員) ※契約・アルバイト・派遣社員除く

事業内容:求人情報サイト「バイトル」「バイトルNEXT」「はたらこねっと」などの運営、看護師転職支援サービス、RPAサービス「コボット」の開発・提供、他

上場証券取引所:東京証券取引所 (市場第一部)

売上高:464億円 (2020年2月期)

URL:<https://www.dip-net.co.jp/>

<報道に関するお問い合わせはこちら>

ディップ株式会社 川上由加里

TEL: 03-6628-4075 / e-mail: dipsouken-info@dip-net.co.jp